

春風に包まれて歴史を歩こう!

特集

# 城跡めぐり 春めぐり

この春は、さわやかな風に包まれながら城跡の魅力に浸りたい。桜吹雪に映える美しい城跡もあれば、山の中にひっそりと往時の面影をとどめる城跡もある。春の歴史旅のメニューにおすすめしたい県内の城跡4つを紹介します。

● 鳥取県内の主な城跡  
● は桜スポット



## 城跡のキホンQ & A

### 城にはどんな種類があるの？

城が造られた場所によって、山城、平山城（平地にある小高い山や丘陵に築城）、平城などの種類がある。当初は防御機能が高い山城が主流だったが、後には城下町の形成などに適した平山城や平城が多くなった。戦乱が終息に向かうと、軍事的機能よりも権威の象徴としての意味が強まり、壮麗な天守閣や石垣を備えた城も築かれた。

### 中・近世の因幡と伯耆の政治状況は？

室町時代以降の因幡・伯耆両国は、室町幕府の有力守護大名だった山名一族が統治していた。しかし、応仁の乱などを

経て弱体化していき、国内の有力武士の台頭や隣国からの尼子・毛利・織田氏らの戦国大名の侵攻を受けて戦乱状態となった。関ヶ原の戦い後は、何度かの領主交代を経て池田氏が鳥取藩主として両国を支配する体制が明治維新まで続いた。

### なぜ城は失われたの？

戦乱期に数多く築かれた城は、江戸時代初めに幕府が制定した、一国において藩主が政治の拠点とする城以外は廃城にする「一国一城令」により大半が失われた。鳥取藩では、因幡国の鳥取城と伯耆国の米子城のみが残されたが、明治時代に入って両城とも石垣を残して解体された。

もっと知りたい人は  
この本を読んでね!

『鳥取県の考古学第6巻 古代・中世・近世』（鳥取県埋蔵文化財センター）



一国一城令のため壊された石垣の様子がポイント。天守台から眺めると、この地が交通の要衝であったことが納得できるよ!



### 若桜町

### 国史跡

## 交通の要衝の地にあった山城跡

# 若桜鬼ヶ城跡

### わかさおにがじょうあと

若桜町の鶴尾山（452m）の山頂にあり、若桜一円を支配する拠点となった山城。鶴尾山は因幡国から播磨・但馬両国に通じる要衝の地であったため、尼子・毛利・織田などの有力大名がこの地を巡って激しい攻防を繰り返して、そのつど城主が入れ替わった。しかし、江戸時代になると一国一城令のため廃城となった。現地では廃城のため壊された石垣を見ることができる。



交車で若桜駅から駐車場まで約15分、駐車場から城跡まで徒歩約10分 Pあり（専用駐車場を利用） 料無料 問若桜町教育委員会 ☎0858-82-2213

アイコンの見方

場：場所(会場)

期：開催期間

休：休館日

時：実施時間

¥：入館料、参加料

中世の山城的な遺構と近世の城郭遺構が併存するため、「城郭の博物館」とも呼ばれています。山麓の公園は桜の名所ですよ！



## 鳥取市

### 羽柴秀吉の兵糧攻めの舞台

# 鳥取城跡

国史跡

## とっとりじょうあと

因幡国や但馬国の支配権を争っていた山名一族の争いの過程で、久松山(263m)に山城が築かれたことに始まる。後に因幡支配の拠点となり、毛利氏と織田氏との抗争の中で、羽柴秀吉による兵糧攻めの舞台にもなった。関ヶ原の戦い後に城主となった池田氏の手によって山麓の石垣を持つ近世城郭が本格的に整備された。明治維新後に大半の建物が撤去されたが、山麓の石垣は当時の面影を現在に伝えている。



交 鳥取駅から路線バス約8分「西町」下車 徒歩約5分、100円バス「仁風閣・県立博物館」、周遊観光バス「鳥取城跡」下車 すぐ Pあり 料無料 問鳥取市教育委員会文化財課 ☎0857-20-3359

## 湯梨浜町

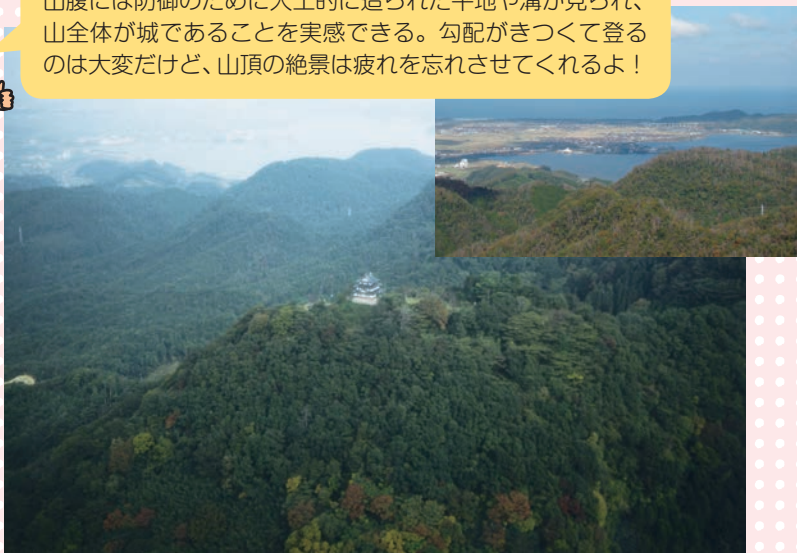
### 山全体を城とする南条氏の拠点

県史跡

# 羽衣石城跡



山腹には防御のために人工的に造られた平地や溝が見られ、山全体が城であることを実感できる。勾配がきつくて登るのは大変だけど、山頂の絶景は疲れを忘れさせてくれるよ！



## うえしじょうあと

東郷池の南にある、険しい羽衣石山(372m)に築かれた県内最大規模の山城。東伯耆の有力豪族・南条氏の居城で、山頂の主郭(城の中心区域)のほか、それを守る多数の郭が尾根上に広がり、山全体が城となっている。伯耆国の支配権を巡る尼子氏や毛利氏の激戦の舞台となったが、関ヶ原の戦い後、南条氏の改易(取りつぶし)に伴って廃城となった。



交 山陰道泊東郷ICから駐車場まで車で20分、駐車場から徒歩20~30分 Pあり 料無料 問湯梨浜町教育委員会 ☎0858-35-5367

名城の面影を宿す壮大な石垣は必見。山頂本丸跡からの眺望は中海や大山が美しく、春は桜とのコントラストが景観を引き立てるよ！



## 米子市

### 正副天守閣が並立した山陰の名城

# 米子城跡

国史跡

## よなごじょうあと

米子市街地の西側、湊山(約90m)に築かれた平山城。毛利一族の吉川氏によって本格的な築城が始まり、関ヶ原の戦い後、伯耆国の領主となった中村氏が引き継いで完成させた。山頂に五重の天守閣と四重の副天守閣が並立する山陰随一の近世城郭で、その後、鳥取藩の時代では、筆頭家老の荒尾氏の預かりとなった。明治時代初めに解体され、現在では石垣のみが姿をとどめている。



交 米子駅から循環バス約5分「湊山公園」下車 山頂まで徒歩約20分 Pあり(湊山公園駐車場利用) 料無料 問米子市教育委員会文化課 ☎0859-23-5437